

# 花咲け、未来



2025

献上桃の郷

## 桑折町

町制施行70周年記念誌



# 心ひとつに 花咲け、未来

先人がこの地で

新しい時代を築こうとしてきた気概、「桑折プライド」。

私たちの心にも脈々と受け継がれてきたその情熱が、

これからも新しい道を切り拓いていく。

実りある未来を知らせる満開の桃の花のように

みんなで手を取り合い、新たな花を咲かせましょう。

## ごあいさつ



町長 高橋 宣博

桑折町は、昭和30年1月1日に、旧桑折町、睦合村、伊達崎村、半田村の1町3ヶ村の合併により町制がスタートしました。そして、今年、70周年を迎えたことは、「平成の大合併」の潮流に流されることなく、「自主・自立の町」を選択し、単独立町の道を歩んできたからにはかなならず、この間の町政に対するご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。

さて、今までの10年間は、国難ともいべき未曾有の東日本大震災とその後に続く原発事故災害からの復旧・復興はもとより、新たなステージである創生へ向けた取組みを力強く進め、夢と活力に満ちた「こおり新時代」の幕開けを迎えたものと捉えております。また、その後の新型コロナウィルス感染症や2年連続の福島県沖地震など、幾多の困難にあっても、町民の皆さんと心ひとつに、それらを克服し、一歩一歩着実にまちづくりを進めてきた結果、今日、住み心地の良さや住み続けたい町として、高い評価を得るところに至りました。

この記念すべき年にあたり、これまでの歩みに思いを馳せるとともに、先人から受け継いだ気概と地域資源を活かし、「桑折ならでは」のまちづくりを推し進め、総合計画でうたう「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」を実現していくことをお誓い申し上げます。

結びに、先人の遺徳に感謝するとともに、未来を担う子どもたちに、夢と希望をつなぎ、花咲く未来を皆さんと共に築いてまいりましょう。

## CONTENTS

心ひとつに—花咲け、未来	2
こおり未来会議	4
時をつなぐ	
1955–2014	8
2015–2018	10
2019–2022	12
2023–2024	14
LOVE KOORI	16
ひらけ！MOMO	18



町の財産である自然や歴史、文化を「桑折ブランド」として確立し、町のイメージアップや交流人口の拡大など、シティプロモーションの取り組みの一つとして、平成30年に制作した町ロゴマーク。

濃い桃色……町民の皆さんのがたかさ  
薄い桃色……桑折町の桃  
緑色…………「半田山」をはじめとする  
豊かな自然  
黄色…………「桃の果肉」や「旧伊達郡  
役所」、「ホタルの光」



町制施行70周年記念ロゴについて  
数字の70のデザインは、桑折町を語る上で欠かせない「桃」と「道」をイメージしました。「桃」は実りある未来、「道」は21世紀の追分である「桑折ジャンクション」。町へ人やものを呼び込む希望の象徴でもあります。青は桑折町の青い空、緑は豊かな自然、オレンジは町に降り注ぐ温かい光、ピンクは桃を表しています。



# こおり 未来会議

令和6年8月10日  
グランケット桑折

子どものころの桑折町の印象や好きだった場所、これから町に期待すること。令和6年に20歳を迎えた桑折町出身の7人が、町の過去・現在・未来について、高橋宣博町長と語り合いました。

## 子どものころの町の印象・好きだった場所

### 人とのつながりがもてる場所

**吾妻** 桑折町は、人と人とのつながりが強いという印象がありました。町の事業を通してつながりが持てるだけでなく、住民たちが主体的につながりを強くしている印象もあります。マルベリーこおりやバーガーサ

ミットなどによく参加していく、運動や食べ物を通して町を知ることができ、私にとっては人と関わる貴重な場所でした。

**緑上** 子どものころ好きだった場所は諏訪神社です。小学生のころから稚児として関わりを持たせていただきました。そのようなコミュニティへの参加は、今でも思い出に残るもので。



ピーチリバーク157と阿武隈川

### 豊かな自然と受け継がれる伝統

**佐藤(倫)** 半田山や阿武隈川が好きで、自然豊かなところという印象があります。半田山に行く機会が多く、自然に触れて遊ぶことができるいい町だと思っていました。一方で、昔はお店が少ない印象もありました。

**阿部** 好きだった場所は法圓寺と諏訪神社です。小学生の時、法圓寺にある公園で毎日友達と遊んでいたのが思い出です。諏訪神社でもよく遊んでいて、お祭りは絶対行っていました。

また、自然の多さも印象的で、帰ってくるたびに、やっぱり自然が多くていいところだと感じています。

**町長** 蛍保存会の方たちが環境整備、自然保護に尽力し、受け継いだ資源を大切に守り続けているように、そ



諏訪神社例大祭

れぞれが好きなことや得意なことを活かした地域づくりが必要だと思います。また、お祭りは、地域コミュニティを形成する上でも大事な要素で、若い人たちが伝統を受け継ぎ、さらに次世代につないでいくことで、地域活性化につながるだけでなく、町



産ヶ沢川のホタル

と思う気持ちもより高まるを感じています。皆さんも「見る側」から「参加する側」として捉え直し、継承者のひとりになつただければ、もっと地域が盛り上がると思いますよ。

### 充実した教育環境

**佐藤(魁)** 小学生のころからずっとバスケをしていたので、町民体育館によく行っていました。桑折町は町民が利用できる施設が多いという印象がありました。

**河原** 好きだった場所はイコーゼ！です。幼稚園生のころから水泳をしていましたが、当時から、良い環境で水泳ができることが誇らしく、町外に住む友達に「雨が降っても、寒くても温水プールだから入





イコーゼ！の温水プール

れるよ」と自慢していました。競泳選手の寺川綾さんの水泳教室に参加できたことも貴重な経験でした。

**石田** 地域の人たちが心優しく、いつもあいさつをしてくれるのが印象的でした。好きだった場所は、桑折テニスコート

です。釣芳中学校のテニスコートもそうですが、綺麗に整備されたテニスコートで練習できたということが、とても嬉しかったです。

**町長** 東日本大震災で被災した中央公民館を建て直すとき、子どもたちの体力が落ちないようにと屋内温水プールを造りました。今では、幅広い年代の方々が体力づくりのために利用しています。また、寺川綾さんを招くような、一流のものに触れる機会は今後もつくっていかなくてはいけないと思っています。「あの時こうしてもらった」という子どものころの記憶は、大人になったときに、次は自分たちが子どもたちのために何かやらなければと思う原動力になります。さまざまな事情で町を離れていかざるを得ない人もいますが、この町で生まれ育ち、いい町だと思ってくれているのだとすれば、ぜひ今度は、いい町をつくる担い手になつてほしいです。

## 手厚い子育て支援

**吾妻** 私は今、県外に住んでいるのですが、安心して帰ってこられる空気感があるところがいいなと感じています。良い意味で、ずっと変わらないでいてほしいところだなと思っています。



くれるよ」と自慢していました。競泳選手の寺川綾さんの水泳教室に参加できたことも貴重な経験でした。

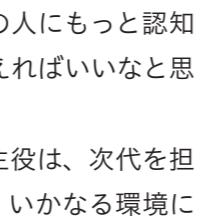
**石田** 地域の人たちが心優しく、いつもあいさつをしてくれるのが印象的でした。好きだった場所は、桑折テニスコート

です。釣芳中学校のテニスコートもそうですが、綺麗に整備されたテニスコートで練習できたということが、とても嬉しかったです。

**町長** 東日本大震災で被災した中央公民館を建て直すとき、子どもたちの体力が落ちないようにと屋内温水プールを造りました。今では、幅広い年代の方々が体力づくりのために利用しています。また、寺川綾さんを招くような、一流のものに触れる機会は今後もつくっていかなくてはいけないと思っています。「あの時こうしてもらった」という子どものころの記憶は、大人になったときに、次は自分たちが子どもたちのために何かやらなければと思う原動力になります。さまざまな事情で町を離れていかざるを得ない人もいますが、この町で生まれ育ち、いい町だと思ってくれているのだとすれば、ぜひ今度は、いい町をつくる担い手になつてほしいです。

## 桑折町は給食費

が無償だったり、制服が支給されたり、子育て世代にとても住みやすい場所だと思います。町外の人にもっと認知され、移住者が増えればいいなと思います。



やはり町の主役は、次代を担う子どもたちです。いかなる環境にあろうとも、同じ機会をしっかりと得て巣立っていくように、今後も行政としてやらなくてはならないことはしっかりと行っています。

**佐藤(倫)** ここ数年、地元食材を使ったバーガーサミットなどのイベントや飲食店が増えているように思います。食に力を入れることで、町外の人に町の魅力をもっと発信できると思います。また、自分は登山が好きですが、半田山登山道をもっと整備していただけだと、もっと多くの人が来



こおりEXPO・バーガーサミット

てくれるのではないかと思っています。

**町長** 上町チアーズやピザスタ、メルバのような店ができたことで、地域がさらに元気になってきている感じています。半田山は国有林でもあるため、伐採などに規制がありますが、可能な限り整備をしていきたいと思います。

## 全国に誇れる自慢の桃

**阿部** 大人になって感じる町の良さは、桃と水がおいしく、自然豊かなところです。町に帰ってきた時に飲む水道水が超おいしくて感動しますし、いい風が吹いているから空気もうまい。自然豊かだからこそ成り立つことだと思います。

**佐藤(魁)** 私も緑が多く、空気や果物がおいしいところが良さだと思います。実家では桃や柿を作っていますが毎年おいしくできるので、売り



半田山自然公園の桜



高品質な桑折町産桃「あかつき」

# 大人になって感じる町の良いところ 町にこれから期待するところ



シラネアオイ



菜の花と半田山



上げが結構出でうれしいです。

**石田** 桃がおいしいところが良さだと思います。桃は全国どこへでも送ってPRでき、遠方の方にも、桑折町の良さを伝えることができます。

**町長** 桑折町の桃、とりわけ「あかつき」は、皇室献上品として平成6年に指定を受けて以来、今年で31回目となりました。これまで、「献上桃の郷」という商標を活かしながら、桃のPRに力を入れてきました。今では、農協の直売所に朝早くから桃を買い求める人の長蛇の列ができています。

それだけ桑折の桃というブランドが確立されてきたと思っています。

さらに磨きをかけていきますので、皆さんもぜひ自慢して、多くの人に紹介してください。

## 住みたいまち

### 住み続けたいまちを目指して

**河原** 町のいいところは、景観の良さです。町外に住んでいる友達が桑折町に来たときに「桑折町ってこんなにきれいなんだ」「こんなにおしゃれなんだ」とびっくりしていました。

人を呼び込む機能や施設が充実しているので、定住してもらえる政策を確立することが必要だと思います。

**町長** 桑折町に行けば、いつもどこかに何かの花が咲いているという場所を作りたいと思っています。今後、耕作放棄地などが必ず出てくる中で、そのような土地に何かの花が一面に

咲いていれば「桑折に行けば自然を満喫できる」とか「いい風景がある」と言ってもらえます。心温まる、気分が良くなる風景をみんなでつくっていきましょう。

**佐藤(魁)** 町に期待することは、伊達桑折インターチェンジ付近に大型商業施設ができるので、それを契機に町を発展させます。

**町長** 東日本大震災からの復旧、復興のシンボルとして相馬福島道路が整備され、伊達桑折インターチェンジもできました。周辺では大型商業施設の工事が進んでおり、大きな人の流れが生まれることでしょう。本町にも滞在してもらうために、南の玄関口となる旧伊達郡役所周辺を整備していきたいと思っています。

**石田** 大学に入って思ったことは、パソコンでタイピングができないと、これから社会に適用できないなということです。情報系の学習を小学



伊達桑折インターチェンジ

校や中学校からやっていくことが、町の発展にもつながると思います。

**町長** GIGAスクール構想として、今は一人一台、タブレットを支給し、小さいときから学習できる環境を整えています。また、英語教育に力を入れ、将来を担う人材をしっかりと育てていこうとしています。



ICT教育の推進

人口減少や少子高齢化の問題、激甚化・頻発化する災害、DXの進展などなど、これからは私たちの想像をはるかに超えるスピードで、世の中が変わっていきます。しかし、みなさんが感じているような、ふるさとの良さであったり、そこに住む町民の気概であったり、変わってはいけないこともあります。そういうものを大事にしながら、みんなで町づくりを進めていきたいと思っています。これからも、いい町を共につくっていくためのお力添えを心からお願い申し上げると同時に、これからの時代をつくる担い手として期待をしています！

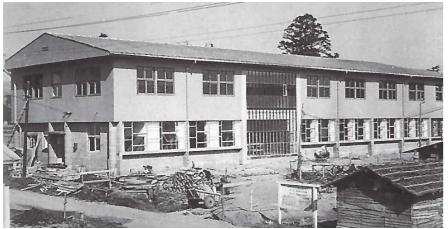
# 1955…1964

昭和30年～昭和39年

- 1955【昭和30年】  
1月 ● 旧桑折町・睦合村・伊達崎村・半田村が合併、新生桑折町が誕生  
2月 ● 合併後初の町長選挙、初代町長に早田傳之助氏就任  
3月 ● 国保直営診療所開設（下郡）  
10月 ● 町議会議員選挙、旧町村から選出する方法で実施

1956【昭和31年】  
3月 ● 旧3村の村役場出張所を廃止

1957【昭和32年】  
7月 ● 国道4号建設工事開始  
11月 ● 役場庁舎完成・移転、新庁舎で執務開始



1958【昭和33年】  
4月 ● 桑折醸芳高等学校設置

# 1955

1959【昭和34年】  
2月 ● 2代目町長に宍戸房吉氏就任  
10月 ● 町議会議員選挙、大選挙区制で実施

1960【昭和35年】

7月 ● 伊達地方衛生処理組合設置

1961【昭和36年】

- 1月 ● 国道4号町内全線開通  
4月 ● 睦合・伊達崎・醸芳中学校を統合、新醸芳中学校となる  
9月 ● 広報ごおり第1号発行  
11月 ● 醸芳中学校校舎増築工事完成



1962【昭和37年】  
4月 ● 農業構造改善事業（ほ場整備）開始

1963【昭和38年】  
4月 ● 町内中小学校にミルク給食設備設置

9月 ● 砂子沢揚水場完成

1964【昭和39年】  
3月 ● 町内農協合併、桑折町農業協同組合発足

# 1965…1974

昭和40年～昭和49年

- 1965【昭和40年】  
1月 ● 桑折町章制定  
9月 ● 桑折町・伊達町・国見町の3町で、土木機械運営協議会発足

1966【昭和41年】

- 3月 ● 藤倉ダム工事完成



1967【昭和42年】

- 1月 ● 桑折町・伊達町・国見町消防常備部開所、業務開始  
4月 ● 半田醸芳幼稚園を設置  
● 桑折町体育協会設立

11月 ● 内之馬場浄水場完成

1968【昭和43年】

- 1月 ● 桑折町・伊達町・国見町学校給食センター完成、学校給食開始  
4月 ● 睦合・伊達崎幼稚園を設置

# 1975…1984

昭和50年～昭和59年

- 1975【昭和50年】  
2月 ● 3代目町長に菊田芳衛氏就任  
4月 ● 伊達西部地区ほ場整備事業開始

1976【昭和51年】

- 6月 ● 伊達地方衛生処理組合「清掃センター」完成  
7月 ● 町民プール利用開始  
9月 ● 第1回桑折町・国見町交通安全町民大会開催

10月 ● 第1回町文化祭開催

1977【昭和52年】

- 6月 ● 「旧伊達郡役所」国の重要文化財に指定  
10月 ● 第1回町民運動会開催

1978【昭和53年】

- 6月 ● 宮城県沖地震、本町でも被害

1979【昭和54年】

- 6月 ● 「旧伊達郡役所」半解体保存修理工事完了（塔屋復元）

1980【昭和55年】

- 1月 ● 醸芳幼稚園園舎改築工事完成

1981【昭和56年】

- 1月 ● 醸芳保育所改築工事完成  
10月 ● 財団法人文化記念館設立 種徳美術館開館  
11月 ● 名誉町民第1号に角田林兵衛氏

# 1985…1994

昭和60年～平成6年

- 1985【昭和60年】  
4月 ● 老人福祉センター「大かや園」開所  
9月 ● 町民憲章および町の花、木、鳥を制定  
11月 ● 町村合併30周年記念事業「桑折町みんなのフェスティバル」開催

1986【昭和61年】

- 2月 ● 半田醸芳幼稚園改築工事完成  
4月 ● 半田コミュニティセンター開所  
8月 ● 8.5集中豪雨により伊達崎地区に冠水、浸水など大きな被害



1987【昭和62年】

- 1月 ● 伊達崎幼稚園および伊達崎季節保育所完成  
3月 ● 桑折勤労者体育センター完成  
4月 ● 半田山キャンプ場利用開始

1988【昭和63年】

- 2月 ● 伊達崎公民館完成

- 半田季節保育所完成



# 1995…2004

平成7年～平成16年

- 1995【平成7年】  
10月 ● 第50回国民体育大会ソフトボール競技成年男子2部開催

1996【平成8年】

- 4月 ● 町公共下水道一部供用開始  
● 児童館開館  
● 皇太子ご夫妻（現天皇皇后両陛下）来町



5月 ● 皇太子同妃両殿下行啓記念碑建立

1997【平成9年】

- 11月 ● 保健福祉センター「やすらぎ園」利用開始

1998【平成10年】

- 4月 ● 幼稚園預かり保育開始

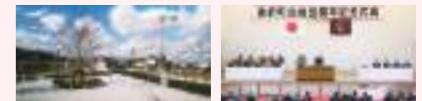


# 2005…2014

平成17年～平成26年

2005【平成17年】

- 4月 ● 桑折駅前広場完成  
11月 ● 町制施行50周年記念式典開催



2006【平成18年】

- 6月 ● 産ヶ沢川ホタル自然公園完成

2007【平成19年】

- 11月 ● 國土交通省「平成19年度手づくり郷土賞」を「奥州街道と羽州街道の追分」が受賞

2008【平成20年】

- 4月 ● 御蔭廻松が「無能寺の笠マツ」として県の文化財（天然記念物）に指定

2009【平成21年】

- 6月 ● 桑折町観光大使「ホタビー」お披露目

2010【平成22年】

- 7月 ● 6代目町長に高橋宣博氏就任

2011【平成23年】

- 3月11日 ● 東日本大震災（震度6弱）発生

- 3月14日 ● 東京電力福島第一原発事故により町土放射能汚染

5月 ● 仮設住宅入居開始

6月 ● 園庭・校庭の表土除去作業開始



2012【平成24年】

- 3月 ● ホールボディカウンタによる内部被ばく測定開始（やすらぎ園）

7月 ● 町内除染作業開始

2013【平成25年】

- 7月 ● 天皇皇后両陛下（現上皇上皇后両陛下）行幸啓（町内通過）



10月 ● 相馬福島道路中心杭設置式

2014【平成26年】

- 5月 ● 安倍総理大臣が大和団地仮置場を視察
- 10月 ● 「こおりEXPO2014」「ふくしまバーガーサミット2014 in 桑折」開催



# 2015

平成27年

天皇皇后両陛下(現上皇上皇后両陛下)が復興状況を視察

## イコーゼ!誕生

5月3日、屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」がオープン。原発事故後の子どもたちの健康維持をはじめ、生涯学習・スポーツ活動の拠点として整備。



## 「桑折駅前団地」完成

5月31日、震災により住まいを失われた方や原発事故により避難を余儀なくされた方のための災害公営住宅「桑折駅前団地」が完成。復興への歩みを進めました。

7月  
天皇皇后両陛下(現上皇上皇后両陛下)  
桃畠を視察



7月16日、天皇皇后両陛下(現上皇上皇后両陛下)が震災および原発事故からの復興状況を視察するため、伊達崎地区的桃畠をご訪問されました。2年前に大雨の影響で叶わなかった桃畠の視察でしたが、両陛下の強い希望により、再度のご訪問が実現しました。

## 2015トピックス

- 1月 ●町制施行60周年記念式典
- 3月 ●「再生可能エネルギー推進の町」宣言
- 5月 ●ご当地ナンバープレート交付開始(町制施行60周年記念事業)
- 8月 ●屋内温水プール利用者10,000人達成
- 10月 ●こおり満福まつり! 2015(町制施行60周年記念事業)
  - 戦後70年平和祈念桑折町戦没者追悼式(町制施行60周年記念事業)
  - 桑折町まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」および「総合戦略」策定
- 11月 ●第1回在京桑折会

# 2016

平成28年

食のイベントを開催  
町内外の人々でぎわう

4月  
行幸啓記念碑建立・  
桃源郷BBQフェス



4月17日、平成27年7月の天皇皇后両陛下(現上皇上皇后両陛下)ご訪問を広く後世に伝え、復興のシンボルにしようと建立した「天皇皇后両陛下行幸啓記念碑」の除幕式が行われました。式の後は、「こおり桃源郷BBQフェス」が行われ、あいにくの雨でしたが、参加者約800人が桃の花を眺めながら食事を楽しみました。



10月  
ご当地バーガーの祭典  
ふくしまバーガーサミット

10月16日、県内13店舗のバーガーと近隣県14種類のバーガーが一堂に会した「ふくしまバーガーサミット2016 in 桑折」が開かれました。会場となったふれあい公園には約23,000人が訪れ賑わいました。

## 2016トピックス

- 3月 ●桑折町歴史的風致維持向上計画認定
- 4月 ●「献上桃の郷」商標登録
- 5月 ●交通事故死者ゼロ1,000日達成
  - 桑折高架線着工
- 9月 ●桑折西山城整備事業着手
- 12月 ●町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」策定

# 2017

平成29年

町内の幼稚園4園が統合  
「釀芳幼稚園」が新たに開園

## 至福の桃シリーズ誕生

3月、町の6次化商品「至福の桃シリーズ」の第1弾となる「至福の桃ソルベ」が誕生しました。11月には、株UHA味覚糖と共同開発した「至福の桃グミ」が誕生。



## 新生「釀芳幼稚園」がスタート

4月、釀芳・睦合・半田釀芳・伊達崎の4園が統合した新生「釀芳幼稚園」が開園。園規模および学級規模の適正化や園舎・園庭の増築・拡張などにより、幼児教育環境の向上が図られました。

10月  
屋外ステージ「ピーチウイング」完成  
こおり満福まつり! でけら落とし



10月9日、ふれあい公園に新しく建てられた屋根付き屋外ステージ「ピーチウイング」のオープニングセレモニーと、こけら落としとなる「こおり満福まつり! 2017」が開かれました。開催3回目となる同イベントには、県内外から約15,000人が来場し、地元子どもたちによるパフォーマンスや有名アーティストの歌声に熱く盛り上がりました。

## 2017トピックス

- 6月 ●子育て世代包括支援センター「すくすく」開所

# 2018

平成30年

「献上桃の郷」桑折町の魅力  
新ロゴマークと冠試合でPR

## 「献上桃の郷」桑折町 新ロゴマーク誕生

3月27日、「献上桃の郷」商標登録(平成28年)を機に、町の魅力を全国に発信するために作られた町ロゴマークを発表。「至福の桃シリーズ」をデザインした東北芸術工科大学学長の中山ダイスケさんが手掛けました。



## 「食」でつながる新しい憩いの場 Legare Koori/Pizza Staオープン



4月24日、旧伊達崎幼稚園を改修し、町の「食」と「農」の魅力を発信する交流拠点「Legare Koori」およびレストラン「Pizza Sta」がオープン。

5月  
「樂天イーグルス  
献上桃の郷」桑折町デー



5月17日、農産物の風評払拭やシティプロモーションの一環として、町冠協賛試合となる東北楽天ゴールデンイーグルス「献上桃の郷」桑折町デーが開かれました。大型ビジョンにはPR動画が映し出され、町特産品が当たる抽選会のほか、観光パンフレットや至福の桃グミを約23,000人の来場者にプレゼントし、仙台の皆さんに町をPRしました。

## 2018トピックス

- 4月 ●桑折テニスコートリニューアルオープン
- 7月 ●桑折町献上桃25周年記念式典
- 9月 ●桑折高架橋連結記念式
- 12月 ●東北自動車道「桑折ジャンクション」名称決定

# 2019

平成31年/令和元年

台風19号で記録的大雨  
堤防決壊や土砂崩れなど被害多発

史跡桑折西山城跡  
本丸跡などを復元



平成28年度から5年計画で実施した「史跡桑折西山城跡整備事業」。建物跡や堀、土塁などの復元や遊歩道、見学動線などを整備しました。平成30年度には本丸建物跡の間取りを復元し、翌令和元年に桑折西山城復元祭を開催しました。

10月 被害甚大  
台風19号が町を襲う



10月12日、「過去最大級」とも言われた台風19号が日本各地を襲い、町でも12日から13日の明け方にかけて、約180mmの記録的大雨が降り注ぎました。阿武隈川の水位上昇に伴う逆流により、佐久間川の堤防两岸が20~30mにわたり決壊し、北沢地区では6棟の住宅が浸水。住民らはすでに避難していたため、幸い人的被害は免れました。睦合地区では土砂崩れが多発。通行止めが発生するなど、台風は大きな爪痕を残しました。

2019トピックス

- 1月 ●交通事故死者ゼロ2,000日達成
- 4月 ●桑折町蚕糸記念公園竣工式
- 5月 ●元号が「平成」から「令和」へ改元
- 7月 ●町役場新庁舎建築工事安全祈願祭
- 桑折ジャンクションランプ橋「こおり夢見橋」名称決定(橋名板除幕式・記念イベント)
- 9月 ●桑折西山城復元祭

# 2020

令和2年

ICとJCTが開通  
暮らしに便利に、快適に

新型コロナウイルス感染拡大



1月、国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認され、4月16日には、全都道府県を対象に緊急事態宣言が発令されました。令和5年に新型コロナウイルスの位置づけが「5類」になるまでの間、ワクチン接種をはじめ、マスク生活や行動制限、それに伴う経済の停滞など、世界的なパンデミックの影響は続きました。

8月 相馬福島道路  
伊達桑折IC～桑折JCT間開通



8月2日、東日本大震災からの早期復興を図るプロジェクトとして工事が進められていた東北中央自動車道(相馬福島道路)伊達桑折IC～桑折JCT間が開通。開通に先立ち、開通前の相馬福島道路を歩く現場見学会が7月23日に開かれ、参加した市民約1,300人が往復4kmの新しい道路を歩きました。同日、道路開通を記念して、エアロバティック・パイロットの室屋義秀さんが小型プロペラ機に乗って道路上空に登場。機体から白いスモークを出して、市民にエールを贈りました。

2020トピックス

- 3月 ●「至福の桃こんにゃくゼリー」販売
- 4月 ●新型コロナウイルス緊急事態宣言
- 5月 ●おでかけバス事業利用開始
- 7月 ●こおり健康楽会設立
- 9月 ●こおり健康ポイント事業開始
- 10月 ●桑折西山城ライブ  
2020



# 2021

令和3年

災害に強い新庁舎を開庁  
山城サミットはオンライン開催

役場新庁舎が開庁



1月4日、役場新庁舎が開庁。町民の意見を基に、住民サービス機能を充実させ、災害時には防災拠点として町の安全・安心を守る庁舎となりました。

震度6弱を観測

2月13日午後11時8分、不気味な地鳴りとともに、ドンと突き上げるような縦揺れが町を襲いました。町では、東日本大震災と同じ震度6弱を観測し、揺れの最中には全世帯で停電が発生。町内のいたるところでブロック塀が崩れ、一部地域では断水被害も発生しました。



2年連続で福島県沖地震発生  
激しい揺れが町全体を襲った

2021トピックス

- 4月 ●小・中学校でICT活用授業本格始動
- 相馬福島道路全線開通
- 5月 ●新型コロナウイルス町民ワクチン接種開始
- 6月 ●「地方創生SDGs推進の町」宣言
- 9月 ●町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」策定
- 10月 ●交通事故死者ゼロ3,000日達成
- 第28回全国山城サミット桑折大会(オンライン)



# 2022

令和4年

福島県沖地震、再び。  
甚大な被害をもたらす

食と音楽のアウトドアフェス  
ピーチリバーク157 OPENING EVENT



7月30日、4月にオープンした桑折町阿武隈川多目的親水公園「ピーチリバーク157」のオープニングイベントが開かれました。食と音楽

とアウトドアで、桑折の夏を盛り上げました。

震度6弱の揺れが再び襲う



3月16日午後11時36分、またも震度6弱の揺れが町を襲いました。大きな横揺れの中、大規模な停電が発生。町周辺に架かる橋(伊達崎橋・伊達橋・大正橋・昭和大橋)が損傷により通行止めになるほか、一部地域では断水被害もありました。

2022トピックス

- 5月 ●桑折町SDGs推進町民会議設立総会
- 10月 ●伊達崎小学校150周年記念式典
- 11月 ●こおりヘルスアップDAY
- 12月 ●「ヘルスアップタウンこおり」宣言



12月 ●旧伊達郡役所災害復旧保存修理工事完了

# 2023

令和5年

旧伊達郡役所開庁140周年  
献上桃30周年の  
アニバーサリーアイ



## 11月 旧伊達郡役所・誕生祭 タイムスリップフェスタ2023

11月3日、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」の敷地内において、郡役所開庁140周年を記念した「旧伊達郡役所・誕生祭 タイムスリップフェスタ2023」を開催しました。

明治時代を体感できる着付けやコスプレ体験、茶会、昔遊びのコーナーのほか、飲食ブースや野外ステージ、ハンドメイドのワークショップなども設置し、県内外から訪れた約3,000人の来場者でにぎわいました。



極上の桃を厳選し、皇室へ献上。献上桃の選果・箱詰式

## 2023トピックス



- 4月 ● 幼小中給食費完全無償化
- レガーレこおり開業5周年記念式典
- 「至福の桃キヤンディ」販売
- 献上桃30周年記念ふるさと納税特別返礼品「雅」受付開始
- 5月 ● 旧伊達郡役所開庁140周年記念事業  
「市民ふれあいコンサート」

- 7月 ● 旧伊達郡役所開庁140周年記念事業  
「旧伊達郡役所開庁140周年記念スイーツ発表・販売会」
- 9月 ● 蘭芳小学校150周年記念式典
- 11月 ● 半田蘭芳小学校150周年記念式典



## 国指定重要文化財 旧伊達郡役所 開庁140周年

## 8月 献上桃30周年 記念式典

8月26日、献上桃30周年記念式典がJAふくしま未来桑折総合支店で開催されました。震災や原発事故、度重なる自然災害の影響を受けながらも、1994年(平成6年)に指定されてから、一度も途切れることのなかった献上桃。出席者はこれまでの歩みを振り返り、思い出話に花を咲かせました。

# 2024

令和6年

町制施行70周年を来年に控え、  
力強く進む

3月 町の新たな顔となる  
複合施設がオープン



これまで、応急仮設住宅や災害公営住宅、蚕糸記念公園などの整備を進めてきた福島蚕糸跡地利活用事業。最後の総仕上げとなる、商業施設を核とした「交流」と「子育て」などの機能を持つ複合施設の整備が官民連携により始まり、主軸となる「いちい桑折店」とアウトドア施設「グランケット桑折」が3月15日にオープン・プレオープンを迎えました。

## 2024トピックス

- 7月 ● 交通事故死者ゼロ4,000日達成
- 9月 ● 「幸福の王林水ゼリー」販売
- 10月 ● 睦合小学校150周年記念式典
- 11月 ● 半田銀山再興150年記念「半田銀山シンポジウム」



歴代議長	第6代	第5代	第4代	第3代	第2代	初代	歴代町長	第6代	第5代	第4代	第3代	第2代	初代
第15代	第14代	第13代	第12代	第11代	第10代	第9代	第8代	第7代	第6代	第5代	第4代	第3代	第2代
原 片	半 浅	高 奥	近 佐	山 亀	近 栗	安 桜	宍 実	高 林	安 菊	宍 早			
平 澤	野 橋	山 藤	藤 川	岡 藤	花 細	木 戸		橋 王	細 田	戸 田			
賢 秀	義 宣	敏 義	角 義	儀 喜	太 郎	久 房	吉	宣 嘉	隆 芳	房 傳	之 助		
志 雄	高 雄	博 夫	宏 夫	藏 彦	清 清	三 郎	吉	博 喜	久 男	清 衛	吉 助		

歴代町長・議長



# ひらけ!

桑折町の未来を描く



桑折町「未来を描く」作品コンクール

入賞・入選作品をご紹介します。



すてきな町を  
みんなで  
つくっていこう!



醸芳小学校  
6年  
松原 碧音さん

大力ヤは歴史的なすばらしい  
木なので、残していきたいと思いました。  
県内だけでなく県外の方々にも来て、  
見ていただけたらうれしいなと思います。



福島信用金庫賞



すばらしい木・万正寺の大力ヤ



醸芳小学校  
6年  
遠藤 淳平さん



町長賞  
歴史と文化 郡役所

昔ながらの擬洋風建築の  
あたたかさとかっこよさを表現し、  
残していきたいという想いで  
描きました。



睦合小学校  
5年  
野地 碧さん

桑折町議会議長賞  
おいしいももをとどけたい

桑折町のももは、  
ずっと残ってほしいと  
思いながら描きました。



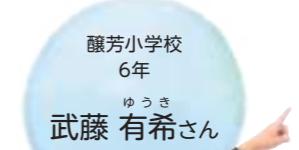
半田醸芳小学校  
5年  
佐藤 月絆さん



桑折町教育委員会教育長賞  
みんなの笑顔と 守りたいもの



みんな大好きな桃とホタルと郡役所。  
ずっとこの先も残り続けて  
みんなを笑顔にしてほしい!



醸芳小学校  
6年  
武藤 有希さん



入選  
諏訪神社の祭

祭りの楽しさを伝えたいし、  
いつまでもこの祭りが続いて  
ほしいと思いました。

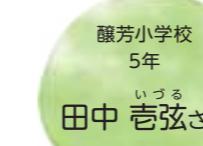


三井住友海上保険賞  
世界と共にある桑折町



伊達崎小学校  
6年  
遠藤 笑瑠さん

世界中のSDGsと  
桑折町の自然がつながって  
いることを描いた。



醸芳小学校  
5年  
田中 壱弦さん



入選  
桑折駅



桑折駅は、桑折町にとって  
大事な場所なので、  
ずっと残っていてほしい。



半田醸芳小学校  
6年  
本田 麗奈さん



入選  
歴史ある旧伊達郡役所

歴史ある旧伊達郡役所が  
未来でもみんなに愛され  
大切にされ続けますように!

# 桑折町町民憲章

桑折町は、阿武隈川の清い流れと、緑につつまれた半田山のふもとにひらけた古い歴史をもつ由緒ある町です。わたくしたちは、この町の伝統ある歴史と文化、恵まれた自然環境を守り、さらに活力ある町に育て後世に引き継ぐために、町民みんなの誓いとしてここに町民憲章を定めます。

- 一、歴史と伝統を尊び、かおり高い 文化の町をつくりましょう
- 一、恵まれた自然を愛し、環境を整え 緑の町をつくりましょう
- 一、心身をきたえ、健康で 明るい町をつくりましょう
- 一、勤労にはげみ、活力ある 豊かな町をつくりましょう
- 一、きまりを守り、助け合う心を育て 住みよい町をつくりましょう

昭和60年9月制定



## 町のシンボル

### 「モモ」

桑折の春を花霞で美しく彩ります。実はくだもの町を代表する逸品です。



### 木

### 「アカマツ」「カヤ」

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。



### 鳥

### 「カッコウ」

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。



### 町章



上半円で「コ」下で「オ」中の白地で「リ」を表す。全体に弧を描く鵬は町の和と飛躍を示し、平仮名の「こ」は半田山を象徴しています。

昭和40年制定

発行年月／令和7年1月

発 行／桑折町

福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7

TEL.024-582-2111

<https://www.town.koori.fukushima.jp>